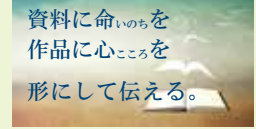


2024.6

日本教育史

学術資料出版
大空社出版
www.ozorasha.co.jp

資料・研究書



TEL:03-5963-4451 / FAX:03-5963-4461 東京都北区中十条 4-3-2 (〒114-0032) eigyo@ozorasha.co.jp

日本教育史基本文献・史料叢書 全 63 巻 2

明治
昭和
教育史
研究資料
復刻版

教育学術界 全 63 巻 * 揃残部 1 組 4

小学校 全 44 巻 * 揃残部 1 組 5

時事通信 内外教育版 全 25 巻 * 揃残部 1 組 6

文部省 教育統計・調査資料集成 全 47 巻 7

*

大正
昭和
国語教育
史資料
復刻版

国語教育 全 33 巻 * 揃残部僅少 8

教育・国語教育 全 36 巻 * 揃残部僅少 9

南洋群島 国語読本 全 8 巻・補遺 1 * 揃残部 2 組 10

*

雑誌『養護 / 学童養護』全 9 巻 11

〈復刻資料〉別巻【解説 / 総目次 / 索引】 * 残部僅少 11

*

社会教育・博物館・体育教師史・特別支援・子ども [研究書] 12

日本教育史基本文献・史料叢書

全63巻

寺崎昌男・久木幸男 監修 [大空社 1991-98 復刻] (体裁) A5 判・上製

*各巻
分売可

- ①日本教育史の研究に必要な不可欠な文献を精選。
- ②復刻を主とし、新編集で初めてまとめたものもある。
- ③各巻に専門研究者の解説収録

★残部僅少

巻	(内容)	ISBN	本体価格
1	日本教育史 文部省(白石正邦):弘道館(明治43)[解説:斉藤太郎] 300頁	4-87236-601-8	6,602円★
2	全国附属小学校の新研究 金港堂編輯部:金港堂(明治43)[解説:藤枝静正] 1170頁	4-87236-602-6	24,272円★
3	日本教育思想史 安達久:モナス(昭和5)[解説:江森一郎] 630頁	4-87236-603-4	11,650円
4	国民道徳ニ関スル講演 文部省編(穂積八束・吉田熊次):文部省(明治44)[解説:森川輝紀] 210頁	4-87236-604-2	4,854円★
5	修身科講義録 東京府内務部学務課(穂積八束・井上哲次郎・吉田熊次):東京府学務課(明治44)[解説:森川輝紀] 460頁	4-87236-605-0	9,223円
6	全国学校沿革史 長坂金雄編:東都通信社(大正3)[解説:神辺靖光] 1320頁	4-87236-606-9	26,214円★
7	思想善導論 大日本学術協会(武田勘治)編:モナス(昭和3)[解説:久木幸男] 400頁	4-87236-607-7	8,447円★
8	大学今昔譚 三宅雪嶺:我観社(昭和21)[解説:中野実] 340頁	4-87236-608-5	5,825円
9	日本近世教育概覧 文部省総務局:文部省(明治20)[解説:神辺靖光] 330頁	4-87236-609-3	7,767円★
10	教育史余材 横山健堂:開発社(明治41)[解説:石附実] 340頁	4-87236-610-7	7,767円
11	大学々生溯源 全(上・下) ※下巻新組編集 橋南漁郎:(上)日報社(明治43)[解説:中野実] 410頁	4-87236-611-5	— 品切
12	石上宅嗣卿 石上宅嗣卿顕彰会:石上宅嗣卿顕彰会(昭和5)[解説:鈴木理恵] 180頁	4-87236-612-3	3,883円
13	大学の運命と使命 帝国大学新聞社編輯部:帝国大学新聞社(昭和5)[解説:寺崎昌男] 370頁	4-87236-613-1	— 品切
14	近世学校教育の源流 高橋俊乘:永沢金港堂(昭和18)[解説:竹内明] 660頁	4-87236-614-X	— 品切
15	日本に於ける耶蘇会の学校制度 シリング著・岡本良知訳:東洋堂(昭和18)[解説:梶村光郎] 300頁	4-87236-615-8	6,796円★
16	女子教育特輯 野間教育研究所紀要 第1輯 土屋忠雄ほか:野間教育研究所・講談社(昭和22)[解説:水野真知子] 300頁	4-87236-616-6	6,796円★
17	金沢文庫の研究 関靖:講談社(昭和26)[解説:大戸安弘] 810頁	4-87236-617-4	— 品切
18	明治末期社会教育観の研究 野間教育研究所紀要 第20輯 倉内史郎:野間教育研究所・講談社(昭和36)[解説:蛭田道春] 210頁	4-87236-618-2	4,854円
19	籠谷次郎日本教育史論集:明治期地方教育史の諸問題 ※新編集 籠谷次郎 380頁	4-87236-619-0	9,709円★
20	巽軒博士倫理的宗教論批評集 第1輯 秋山悟庵:金港堂(明治35)[解説:関川悦雄] 410頁	4-87236-620-4	10,680円
21	満日本教育史(上・下) 加藤仁平:建文館(昭和12・14)[解説:久木幸男] 490頁	4-87236-621-2	13,592円
22	寄宿舎と青年の教育 滝浦文弥:単純生活社(大正15)[解説:斉藤利彦] 450頁	4-87236-622-0	12,621円
23	学校改良論 寺田勇吉:南江堂(明治31)[解説:寺崎昌男] 250頁	4-87236-623-9	7,767円
24	学校観の史的研究 第2篇 野間教育研究所紀要 第27集 寺崎昌男・佐藤秀夫・宮沢康人・山内太郎:野間教育研究所・講談社(昭和47)[解説:寺崎昌男] 320頁	4-87236-624-7	9,709円
25	明治教育思想史 藤原喜代蔵:富山房(明治42)[解説:斉藤太郎] 780頁	4-87236-625-5	18,447円
26	児童読物の研究 京都市小学校教員会研究部:京都市小学校教員会研究部(昭和2)[解説:小熊伸一] 360頁	4-87236-626-3	8,738円
27	高橋俊乘 日本教育史論纂 ※新編集 高橋俊乘 [解説:辻本雅史] 770頁	4-87236-627-1	18,447円
28	教育史料雑考 三浦藤作編著:帝国教育会(昭和7)[解説:石附実] 660頁	4-87236-628-X	16,505円
29	財団法人大日本婦人教育会五十周年記録 大日本婦人教育会:大日本婦人教育会(昭和11)[解説:小山静子] 570頁	4-87236-629-8	14,563円★
30	明治少年文化史話 木村小舟:童話春秋社(昭和24)[解説:田嶋一・狩野浩二] 410頁	4-87236-630-1	10,680円

巻	(内容)	ISBN	本体価格
31	教育史 (日本現代史大系) 宮原誠一:東洋経済新報社 (昭和 38) [解説:尾崎ムゲン] 420 頁	4-87236-631-X	10,680 円
32	近世豪農の学問と思想 柴田一:新生社 (昭和 41) [解説:川村肇] 550 頁	4-87236-632-8	13,592 円
33	教科書国定化問題論纂 ※新編集 ①教育界の厄はらい 菊池勉:松邑三松堂、明治 36) ②教科書国定ニ就テ 文部省官房編・発行、明治 36) ③欧羅巴各国ニ於ケル教科書制度ノ調査 附我国ノ教科書制度ヲ論ズ 山田禎三郎著・発行、明治 36) ④国定教科書に関する沢柳普通学務局長の演説 文部省普通学務局編・発行、明治 38) [解説:梶山雅史] 380 頁	4-87236-633-6	10,680 円
34	赤門生活 南北社編・発行 (大正 2) [解説:中野実] 340 頁	4-87236-634-4	9,709 円
35	増補王朝教育史資料 ※新編集 春山作樹編:長崎書店 (昭和 5) [解説:原本訓読:久木幸男] 250 頁	4-87236-635-2	9,709 円
36	小学校教授法沿革史 佐々木清之丞:厚生閣書店 (昭和 5) [解説:鈴木そよ子] 390 頁	4-87236-636-0	10,680 円
37	幼児保育史 古木弘造:巖松堂書店 (昭和 24) [解説:穴戸健夫] 190 頁	4-87236-637-9	— 品切
38	日本児童文章史 西原慶一:東海出版社 (昭和 27) [解説:太郎良信] 860 頁	4-87236-638-7	24,272 円
39	京都府初等教育優良事蹟 第 1 篇 京都府第二部学務課 (明治 39) [解説:三原芳一] 410 頁	4-87236-639-5	11,700 円★
40	都府初等教育優良事蹟 第 2 篇 京都府内務部学務課 (明治 41) [解説:三原芳一] 260 頁	4-87236-640-9	7,500 円
41	全国優良小学校実況 文部省:金港堂 (明治 42) [解説:笠間賢二] 470 頁	4-87236-641-7	12,000 円
42	自治及修身教育批判 東京市政調査会 (大正 13) [解説:小川剛] 190 頁	4-87236-642-5	4,500 円★
43	近世教育史の諸問題 石川謙:文修堂書店 (大正 15) [解説:石川松太郎] 460 頁	4-87236-643-3	12,900 円★
44	育英十年 京都府師範学校附属小学校第二教室 (昭和 3) [解説:田中耕治] 210 頁	4-87236-644-1	5,500 円
45	日本之儒教 日本儒教宣揚会:日本儒教宣揚会、昭和 9) [解説:駒込武] 330 頁	4-87236-645-X	8,500 円★
46	小西信八先生存稿集 小西信八・小西信八先生存稿刊行会 (昭和 10) [解説:平田勝政] 280 頁	4-87236-646-8	7,500 円★
47	中等教育の革新 谷本富・谷本先生遺稿出版委員会 (昭和 37) [解説:斎藤利彦] 220 頁	4-87236-647-6	5,500 円
48	学生風紀問題 井田竹治 (明治 35) [解説:富岡勝] 190 頁	4-87236-648-4	5,000 円★
49	支育勅語衍義集成 峰間信吉:東京学友社 (昭和 12) [解説:岩本努] 480 頁	4-87236-649-2	14,000 円★
50	教育史研究 創刊号~第 7 号 教育史研究会 (昭和 30~34) [解説:森川輝紀] 480 頁	4-87236-650-6	14,000 円★
51	我国における千字文の教育史的研究 本編 尾形裕康:校倉書房 (昭和 41) [解説:石島庸男] 470 頁	4-87236-651-4	14,000 円★
52	我国における千字文の教育史的研究 図録編 尾形裕康:校倉書房 (昭和 41) [解説:石島庸男] 290 頁	4-87236-652-2	8,000 円★
53	私の聞書き帖 大西伍一:慶友社 (昭和 43) [解説:小林千枝子] 360 頁	4-87236-653-0	10,000 円
54	優良小学校之実際 上 教育実験界編纂部:育成会 (明治 42) [解説:笠間賢二] 350 頁	4-87236-654-9	10,000 円
55	優良小学校之実際 下 教育実験界編纂部:育成会 (明治 42) [解説:笠間賢二] 430 頁	4-87236-655-7	12,000 円
56	明治大正教育教授物語 教育週報社:モナス (昭和 4) [解説:吉村敏之] 390 頁	4-87236-656-5	11,000 円
57	聖堂略志 中山久四郎:斯分会 (昭和 10) [解説:橋本昭彦] 200 頁	4-87236-657-3	6,000 円
58	明治以降裁縫教育史大要裁縫関係法令抄 渡辺学園 (昭和 15) [解説:桑田直子] 260 頁	4-87236-658-1	7,000 円
59	日本日曜学校史 山本忠興:日曜世界社 (昭和 16) [解説:梶村光郎] 320 頁	4-87236-659-X	9,000 円
60	漢学塾を中心とする江戸時代の教育 佐々木清之丞 (昭和 18) [解説:川村肇] 280 頁	4-87236-660-3	8,000 円★
61	新制大学への道 学徒図書組合文化部 (昭和 24) [解説:寺崎昌男] 200 頁	4-87236-661-1	6,000 円★
62	専門学校資料 上・下 文部省大学学術局技術教育課 (昭和 31) [解説:羽田貴史] 570 頁	4-87236-662-X	10,000 円★
63	教師の社会的地位 細谷恒夫:有斐閣 (昭和 31) [解説:若井弥一] 460 頁	4-87236-663-8	14,000 円

● 刊行経過

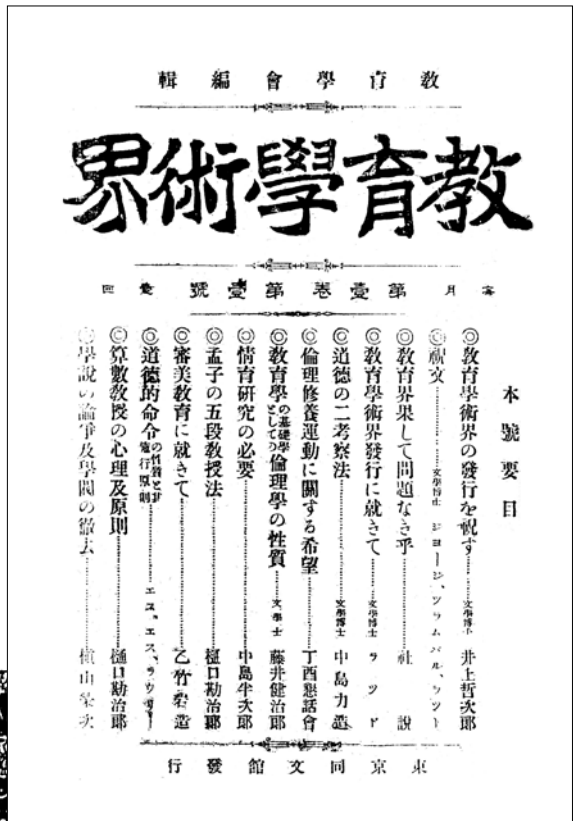
期	巻	刊行年月	ISBN	セット本体
第 1 期	8 巻 (1-8 巻)	1991 年 4 月	4-283-00340-9	97,087 円
第 2 期	10 巻 (9-18 巻)	1992 年 2 月	4-283-00341-7	—
第 3 期	6 巻 (19-24 巻)	1993 年 3 月	4-283-00342-5	64,078 円
第 4 期	8 巻 (25-32 巻)	1994 年 6 月	4-283-00343-3	111,652 円
第 5 期	6 巻 (33-38 巻)	1996 年 3 月	4-283-00344-1	—
第 6 期	9 巻 (39-47 巻)	1997 年 10 月	4-283-00345-X	75,600 円
第 7 期	6 巻 (48-53 巻)	1998 年 3 月	4-283-00346-8	65,000 円
第 8 期	10 巻 (54-63 巻)	1998 年 11 月	4-283-00347-6	93,000 円

(明治編) 寺崎昌男 監修 / 小熊伸一 解説 [大空社 1989-98 復刻] A5/B5 判・上製

■明治・大正〈近代日本〉の教育理論・学術研究・教育問題... 現代の研究が立ち返るべき宝庫 1899年創刊から約半世紀、長命を維持した代表的教育雑誌。海外理論を積極的に摂取、高い学術性を保ち、初等・中等・専門教育に目を配り、日本独自の教育の確立を模索する論文を掲載。錚々たる寄稿者。

- 【明治編】** 全 48 巻 (同文館、明治 32.11- 大正 1.9) 別巻 (解説・総目次・著者名索引) (全 5 回配本)
 [1回] 10 巻 (1-10 巻 : 1 巻 1 号 -6 巻 6 号 (明治 32.11-36.3)) 4-87236-089-3 本体 165,000 円
 [2回] 10 巻 (11-20 巻 : 7 巻 1 号 -11 巻 6 号 (明治 36.4-38.9)) 4-87236-090-7 本体 165,000 円
 [3回] 10 巻 (21-30 巻 : 12 巻 1 号 -16 巻 6 号 (明治 38.10-41.3)) 4-87236-091-5 本体 150,000 円
 [4回] 10 巻 (31-40 巻 : 17 巻 1 号 -21 巻 6 号 (明治 41.4-43.9)) 4-87236-092-3 本体 150,000 円
 [5回] 8 巻 (41-48 巻 : 22 巻 1 号 -25 巻 6 号 (明治 43.10- 大正 1.9))・別巻 4-87236-093-1 本体 140,000 円
(明治編) 全 48 巻・別巻 1 揃本体 770,000 円

- 【大正編】** 全 34 巻 (同文館→大日本学術協会→東京モナス、大正 1.10-10.3) (全 5 回配本)
 [1回] 6 巻 (1-6 巻 : 26 巻 1 号 -28 巻 6 号 (大正 1.10-3.3))
 4-7568-0204-4 本体 95,146 円
 [2回] 7 巻 (7-13 巻 : 29 巻 1 号 -32 巻 3 号 (大正 3.4-4.12))
 4-7568-0205-2 本体 106,796 円
 [3回] 7 巻 (14-20 巻 : 32 巻 4 号 -35 巻 6 号 (大正 5.1-6.9))
 4-7568-0206-0 本体 110,000 円
 [4回] 7 巻 (21-27 巻 : 36 巻 1 号 -39 巻 3 号 (大正 6.10-8.6))
 4-7568-0207-9 本体 110,000 円
 [5回] 7 巻 (28-34 巻 : 39 巻 4 号 -42 巻 6 号 (大正 8.7-10.3))
 4-7568-0208-7 本体 120,000 円
(大正編) 全 34 巻揃本体 541,942 円



1899年(明治32)に創刊され以後約50年間刊行されたこの雑誌『教育学術界』は、すでに複製版のある『教育時論』に匹敵する刊行寿命をもつ代表的教育雑誌であった。しかも後者にくらべて、学術性・理論性においてははるかに高いものをもっていた。一方、同じく代表的教育雑誌だった『教育報知』にくらべ政治的主張においてやや鮮明さを欠いていたが、そのことでかえって安定した重厚さを保っていた。早稲田・慶応・東京高師さらには帝国大学に及ぶ編集陣によって編纂が受け継がれ、誌名通りの「学術性」を失わなかった。さらに、初等教育だけでなく、中等教育・専門教育に及ぶトピックを取り上げ論文を掲載しつつづけたのも、他の雑誌にない大きな特色だった。

寺崎昌男(監修にあたって抄)

教育學術界 第二十七卷 第五號 目次

◎教育調査會總裁及會員 ○主 張	◎大學教授の淘汰に就いて ○論 說	◎ホブハウズ氏倫理進化論 ○論 說	◎誤れる國家觀念と國民道徳説 ○カメンツァの教育説を評論す	◎心理學上の行動説に就いて ○ルソーと活動主義教育	◎大正新教育綱領 ○原 稿	◎幾何學軌跡教授法を讀みて ○幾何學軌跡の教授と國旗の利用	◎中學生の宗教に對する態度 ◎夏休に於ける國語科の宿題	◎文藝文壇 ○文藝文壇	◎獨逸史跡歷訪日誌の一節 ◎山鹿素行先生(三)	◎バルタマアアル ○海外教育	◎獨逸に於ける教育研究の現状 ◎米國教育大觀	◎海外學事彙報 ◎教育調査會役員 ◎男兒自治俱樂部 ◎文檢植物科受驗記	◎先帝第一勅諭の天降詔日の新刊紹介 ◎先帝第一勅諭の天降詔日の新刊紹介 ◎先帝第一勅諭の天降詔日の新刊紹介 ◎先帝第一勅諭の天降詔日の新刊紹介	
支那博士 井上哲次郎	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野	支那博士 上野

全巻揃残部1組

* 配本分売店ご相談

寺崎昌男 監修／小熊伸一 解説 [大空社 1992-95 復刻] B5判・上製

■明治39年から昭和8年まで、長期にわたり発行された教育雑誌の〈ベストセラー〉『小学校』(発行・同文館)。臨時増刊号を含む明治期の全137冊の復刻。全国の教育者たちによる教育理論・実践・研究の成果・記録や「投書」「論壇」は、当時の教育界の実態を照らすのみならず、数多くの教師を育成する役割を果たした。

- [1回] 10巻 (1-10巻:1巻1号-5巻6号)
(明治39.4-41.6) 4-87236-229-2 本体131,068円
- [2回] 10巻 (11-20巻:5巻7号-7巻12号)
(明治41.7-42.9) 4-87236-230-6 本体131,068円
- [3回] 8巻 (21-28巻:8巻1号-9巻12号)
(明治42.10-43.9) 4-87236-231-4 本体106,796円
- [4回] 8巻 (29-36巻:10巻1号-11巻12号)
(明治43.10-44.9) 4-87236-232-2 本体97,087円
- [5回] 8巻 (37-44巻:12巻1号-13巻14号)
(明治44.10-大正1.9) / 別巻 (解説・総目次・著者名索引)
4-87236-233-0 本体106,796円
(全44巻・別巻1) 揃本体572,815円

初等教育研究雑誌
第一卷 第一號
明治三十三年四月十五日
初等教育研究雑誌

未嘗有の大躍進を遂げて、我が邦は更に大発展大飛躍を試むべき運命に到達せり。生を此の時代に享け、此際に活動する吾人は實に至幸のものといはざるべからず。然れども國家最大の危険は亦實に此際に在り。人心驕慢に流れて勤勉努力を缺き、政治は腐敗し、經濟界は紊亂し、教育事業の如き亦た同じく腐敗衰微に傾くことなきにあらず。我が邦現に然りと云ふにあらざると雖も、教育實際界の大勢稍ダラ氣味になりたる觀あるは蔽ふべからざる事實なり。これ恐らくは眞面目なる研究の衰へたる兆候にあらざるか。本會こゝに觀る所あり、着實正確にして眞に系統ある研究の結果を發表する實際雑誌を發刊して、大に教育者及び當局者を警醒し、指導し、且つ共に廣く研究を試みんとするものなり。

教育雑誌は其種類既に多く、以て其要求に應ずるに足るが如しと雖も、現に存する實際雑誌を觀るに、或は地方教育者の實験を羅列するに止り、或は研究者の範圍狭き等、何れも不満足なるを免れず。本會の期する所は、深遠なる學理に根據を置き、着實なる實驗に基きたる研究の結果を發表し、全國十萬の教育者が各自實驗せる所、考案せる所と精選の上紹介し、しかも單に紹介するに止めず、批評を加へ、成るべく主義一貫統一あるものならしめんとす。更に本誌の特色とすべき點は、教育學心理學倫理學等の通俗講話にありとす。これ嶄新なる學說を極平易に説明するは、一般教育者を益する大なるものあるべしと信じたればなり。

本誌茲に生れたりと雖も、尙ほ整はざる所あり、所期に適はずとの評あるは免がれざる所なるべきも、號を重ねる毎に必ず多少の改良を加へて、漸次に精良のものとなさんとす。吾人は茲に廣く教育者諸君の熱心なる贊助を祈るものなり。

第13巻第9号 (明治43年9月) 目次

初等教育研究雑誌
研究雑誌
研究雑誌

● 研究 ●
▲ 座石の銘に修身科教授に及ぶ 久住榮一 (一九)
▲ 児童遊戯人形 小橋清 (二八)
▲ 夏と教育の願慮 大橋龜太郎 (四八)
▲ 夏期休業課題の方針 水野中 (五八)
▲ 夏季休業課題の實際 高橋謙 (六三)
▲ 夏季休業中の児童心得 砂倉其竹堂 (七二)
▲ 工業補習学校の施設經營に就て 宇野三郎 (七九)
▲ 尋常小學地理卷二挿畫の略解(四) 三宅山太郎 (八六)
▲ 漢字教授上の注意(二) 後藤朝太郎 (九五)
▲ 訓育に就て 白井淺太郎 (一〇〇)
▲ 児童の辨當に就て 大橋龜太郎 (一〇二)
▲ 何故に石磔を使用せざる 中谷平三郎 (一一〇)
▲ 犧牲的精神の涵養 船津藤作 (一二〇)

○ 講話 ○
▲ 賞罰の研究 藤原又吉 (一六)
▲ 岩鹽の話 高島平三郎 (一七)
▲ 幕府の職制に就きて 藤原又吉 (一八)
▲ 覺めたる女 高島平三郎 (一九)

○ 雜 語 ○
▲ 樺太の教育 文士 沼田竺蚌 (二〇)
▲ 小淵 文士 安倍叔香 (二六)
▲ 山村の友より 東京 井川恭 (三一)
▲ 日本一の長者者と大男 東京 須藤栞曳 (三七)
▲ 國又と日本史東洋史科受験記 合格者 須藤栞曳 (四三)

○ 附 録 ○
▲ 編輯部 東京 須藤栞曳 (四四)
▲ 編輯部 東京 須藤栞曳 (四五)
▲ 編輯部 東京 須藤栞曳 (四六)
▲ 編輯部 東京 須藤栞曳 (四七)
▲ 編輯部 東京 須藤栞曳 (四八)

一九〇〇年前後の日本の教育界には、周知のとおり数多くの教育雑誌が登場した。雑誌『小学校』は、そのなかではやや遅れて一九〇六年(明治39)の創刊になるが、森山章之丞を社主とする同文館から発行され、『教育実験界』(一八九八年創刊)、『教育学術界』(一八九九年創刊)などの大雑誌を凌駕するベストセラーになった。

一九〇六年といえは日露戦争直後、義務教育の二年延長を目前にひかえていた年である。国定教科書の現場使用から三年目であった。このような時期に、同誌が小学校教師に熱烈に迎えられたのはなぜか? それだけでも同誌の書誌的研究は興味あるテーマになる。だが、興味はそれだけにとどまらない。このようなインフルエンスな媒体を通じて、急激に膨張しつつあった二十世紀初めの大衆教育界に、だれの、どのような情報が流され、教師と学校に対するいかなる期待が表明され、何が訴えられていたのかを解明することは、広義の教育思想史・教育世論史研究への大きな示唆となる。

半面、『小学校』には、他誌と同じく、有名無名の教師たち自身の声が数多くの上られている。この投書性格に注目して本誌を読みこめば、私たちは、明治の教師たちの職業生活の実態、彼らが希求した技術、彼らを悩ました抑圧などを、具体的に読み取ることができる。すなわち、日本の近代学校教師のメンタリティを知る大きな手がかりを見いだすことができよう。

寺崎昌男 (復刻にあたって)

時事通信 内外教育版

全巻揃残部1組
* 配本分売応ご相談

全25巻・別巻3 渡部宗助編集・解説 [大空社1988-97復刻] B5判・上製

■『時事通信内外教育版』(昭和21.10-32.2)。教育ジャーナリズムの先駆、戦後混乱期の教育界(中央・地方の動向や海外事情)を如実に伝える。学者・文部高官・地方教育家など多彩な執筆陣。(全4期配本)

- [1期] 6巻 (1-300号(昭和21.10.9-27.2.5))
4-87236-036-2 本体99,000円
 - [2期] 5巻 (301-500号(昭和27.2.8-29.2.5))・別巻
4-87236-052-4 本体92,000円
 - [3期] 7巻 (501-650号(昭和29.2.9-30.7.26))
4-7568-0548-5 本体110,000円
 - [4期] 7巻 (651-800号(昭和30.7.29-32.2.1))・別巻
4-7568-0676-7 本体110,000円
- (全25巻・別巻3) 揃本体411,000円

(1) 昭和21年8月8日 (木) 第274号 時事通信 内外教育版 第3編 昭和21年

時事通信 内外教育版

昭和21年12月12日 第3編 昭和21年12月17日 第3編 昭和21年12月17日

編集印刷発行人 株 田 増 三 週刊 内外教育版
東京都千代田区日比谷公園2番 時事通信社

【目次】

【地方教育の動向】 上野啓一郎 入野啓一郎 7	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの
【海外事情】 アメリカン・ギタラーの	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの
【海外事情】 アメリカン・ギタラーの	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの
【海外事情】 アメリカン・ギタラーの	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの
【海外事情】 アメリカン・ギタラーの	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの

【目次】

【海外事情の動向】 上野啓一郎 入野啓一郎 7	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの
【海外事情】 アメリカン・ギタラーの	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの
【海外事情】 アメリカン・ギタラーの	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの
【海外事情】 アメリカン・ギタラーの	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの
【海外事情】 アメリカン・ギタラーの	【海外事情】 アメリカン・ギタラーの

(1) 昭和23年9月2日 (木)

時事通信 内外教育版

昭和21年12月12日 第3編 昭和21年12月17日 第3編

編集印刷発行人 株 田 増 三 週刊 内外教育版
東京都千代田区日比谷公園2番 時事通信社

【目次】

新制大学への展望.....1	【重要資料】
教育委員会の選挙について.....5	一文部通達第109号全文
選挙の要綱.....6	質疑應答抄.....9

【重要資料】

教育委員会の選挙について.....5
一文部通達第109号全文
選挙の要綱.....6
質疑應答抄.....9

【重要資料】

教育委員会の選挙について.....5
一文部通達第109号全文
選挙の要綱.....6
質疑應答抄.....9

【重要資料】

教育委員会の選挙について.....5
一文部通達第109号全文
選挙の要綱.....6
質疑應答抄.....9

発刊時 (1988年1月) 推薦文より (抄)

戦後教育をグローバルに把握する史料 鈴木英一 (名古屋大学教授)

戦後日本の教育改革を総合的に考察するためには、日本側・占領軍両者の動向に注目しなければならない。今回、復刊される内容を見て、正にその「掛け橋」としての役割を荷なうのが本誌であると確信する。昭和21年から昭和27年とえば、国をあげて教育改革という歴史的大事業に取り組んでいた時代である。民間情報教育局を中心とする占領政策の推移に詳しく、著名な教育学者・文部省高官・地方教育家など執筆陣が実に多彩であり、六・三制をはじめ教育改革の多側面を、中央・地方の詳細な動きを含め、立体的に把握できる点、第一級の史料価値がある。当時の海外事情にも詳しい点、日本の教育をグローバルに把握できる。このように、本誌はかの『タイムズ・教育版』に優るとも劣らない。

時代の生々しい教育情報の集積 平原春好 (神戸大学教授)

冒頭に田中耕太郎文部大臣の「日本教育の再建構想」やニューエージェント CIE 局長の「発刊に寄す」を掲げた第1号から、標準教科書や改定学習指導要領問題などを扱った第300号までの中には、教育に関する時論をはじめ、国会・政党・文部省・教職員組合などの動き、国内・国外の教育事情、調査資料、教育図書を紹介など、さまざまな記事が掲載されており、その時々の断面が生々しく記録されている。このような『内外教育版』は、ニュースの配信を業務とした時事通信社の発行物であるから、取材陣の豊富さと報道の速報性に強みがあり、とくに政策立案・立法過程や世論動向などについては、公共機関の教育広報誌などでは得られないものを提供してくれ、参考になる。

（商品の状態について）刊行年が古いものは、本文の読書に支障はないものの、経年による劣化（小口のしみ、表紙クロス焼け等）が見られるものがあります。最善の状態での出荷を心がけますが、新品と言いかねる場合もありますので、ご注文の際にはご承知おきのほどお願いいたします。

国語教育

全巻揃残部数組

* 配本分売応ご相談

全 33 巻・別巻 1 石井庄司・倉澤栄吉 監修 [大空社 1993-95 復刻] B5 判・上製

■「申すまでもなく、わが国最初の国語教育専門誌である。大正 5 年に創刊されたこの月刊誌 [育英書院刊] は、時局によって廃刊に追い込まれるまで、四分の一世紀にわかって、国語教育界の牽引車であった。大正・昭和期およびそれ以降の国語教育に「資益するところ少なくなかったとうぬぼれていた」(保科孝一『国語問題五十年』147 頁)本である。保科主幹の言以上に、研究者・実践家に与えた影響は、図り知れないものがある。(刊行のことばより)」

●内容・特色 ①国語・国字問題の歴史資料=主幹・保科孝一が毎号「巻頭言」執筆。 ②多彩な執筆陣=上田万年、乙竹岩造、沢柳政太郎、玉井幸助、芦田恵之介、五味義武、馬淵佑佑、秋田喜三郎など、国語学者・教育学者・全国の師範学校や大学教員・全国の実践家。 ③教材論・授業論=「論説」「教材の研究」「教材の実際」「国語問題」と理論と実践にわたる編集。 ④中等教育における国語教育のあり方や実践、教材研究の提案の資料。ドイツを中心とした外国文献を多く紹介。 ⑤解説執筆者=朝倉秀雄、石井庄司、井上敏夫、甲斐雄一郎、倉澤栄吉、桑原隆、近藤国一、首藤久義、塚田泰彦、野地潤家。

<p>白馬の節會外一圖(諸國年行事)</p> <p>第三皇子高松宮殿下……………宮内省大官官廳 佐野 恵作(一)</p> <p>主 張……………保科 孝一(一五)</p> <p>論 說……………八波 則吉(二)</p> <p>テスト加味の程度……………第五高等学校教授 文學士 今泉浦治郎(三)</p> <p>国語科入學試験及びその問題について……………山口高等商業科教授 文學士 徳本 正俊(六)</p> <p>入學試験と国語科問題の傾向……………東京府立第三中学校教授 徳本 正俊(六)</p> <p>高等女学校の国語科入學試験問題に就いて……………山口縣立高等女学校教授 飯田 恒作(四〇)</p> <p>入學試験と国語科……………東京高等師範科教授 堀江 與一(四六)</p> <p>女子師範学校高等女学校の国語科入試に就いて……………山口縣立女子師範科教授</p>	
<p>文章の総合的理解……………宮内省女子高等師範学校教授 文學士 岩城 準太郎(一八)</p> <p>中等学校入學試験問題所感……………東京府立第一小学校校長 岡井 一良(二五)</p> <p>国語科入學試験問題改選の根本理……………成城大学教授 奥野 庄太郎(二六)</p> <p>選抜の効果より觀たる選抜試験としての国語試験……………東京高等師範科教授 文學士 白崎 浅太郎(二七)</p> <p>入學試験問題について……………東京府立第一小学校校長 原田 直茂(二八)</p> <p>中等学校入學試験に就いて……………東京府立第一小学校校長 原田 直茂(二八)</p> <p>入學試験……………東京高等師範科教授 堀江 與一(四六)</p> <p>選擇と選抜……………東京高等師範科教授 堀江 與一(四六)</p>	
<p>懸賞論文</p> <p>中等学校国語科入學試験問題に就ての一考察と改善私見(二等)……………名古屋市八重小学校校長 早瀬 松蔵(一)</p> <p>女学校から見た入學問題と三つの重點(二等)……………福岡県立第一高等女学校校長 近藤 義夫(三〇)</p> <p>中等学校の讀方科入學試験問題に對する一私見(三等)……………京都市立第一高等小学校校長 上柳 平三(三〇)</p> <p>中等学校国語科入學試験問題の歸結點(三等)……………香川県立第一師範科教授 細川 馨(三二)</p> <p>所感數則(三等)……………香川県立第一師範科教授 毘 仙史(三二)</p>	
<p>雑 録</p> <p>試験に對する科學的研究の必要……………編輯主任 竹内 文路(三三)</p> <p>国語科入學試験問題實際例(大正十三年度)……………編輯主任 竹内 文路(三三)</p> <p>江戸川様より……………實踐應答……………編輯主任 竹内 文路(三三)</p>	

第 10 卷 1 号 (大正 14 年 1 月) 目次

- (全 4 回配本)
- [1 回] 9 卷 (1-9 卷 : 1 卷 1 号 -3 卷 12 号(大正 5. 1-7. 12))
4-87236-849-5 本体 145,631 円
 - [2 回] 9 卷 (10-18 卷 : 4 卷 1 号 -6 卷 12 号(大正 8. 1-10. 12))
4-87236-921-1 本体 145,631 円
 - [3 回] 9 卷 (19-27 卷 : 7 卷 1 号 -9 卷 12 号(大正 11. 1-13. 12))
4-7568-0001-7 本体 145,631 円
 - [4 回] 6 卷 (28-33 卷 : 10 卷 1 号 -11 卷 12 号(大正 14. 1-15. 12))・別巻 (解説・総目次・著者名索引)
4-7568-0113-7 本体 135,922 円
- (全 33 巻・別巻 1) 揃本体 572,815 円

第 10 卷 3 号 (大正 14 年 3 月) より

國語問題解決の好時期

保科 孝一

國語問題は明治維新以來の歴史で、幾多の曲折起伏を経て今日に至つたのである。この問題には國字に關するもの、假名遣に關するもの、文體に關するもの、標準語に關するもの、文法に關するもの、あるいは句讀法や送假名に關するもの等種々の重要な事項が含まれてゐるが、過去五十年間朝野の識者間に於いては、ローマ字専用論や假名遣・假名遣まじり文體に關するものである。文字の改良については、ローマ字専用論や假名遣専用論はすでにややく唱えられてゐる。日清戦役により國民がようやくその世界的地位を自覺し、支那より文字を借用して居る現状に對してはなほだしく不快な感情を抱き、むしろ國民としての固有の文字を有するの必要を認め、いわゆる新國字論なるものがあらわれて來た。しかるに一方に於いては、漢字を全廢することは一朝一夕にして目的を達し得るものでない、ゆゑにむしろその字數を節減してこれに對する負擔を軽くするがよいとゆう意見もあらわれて居る。もちろんこの間に漢字の全廢はもとより、その節減といふこともなし得るものでもなく、なすべきものでもないといふ現状維持論の存在したことは言を待たない。

假名遣については、とうとう鎌倉時代からこれを整理統一するの必要が認められ、徳川時代に至てからはいろいろの意見があらわれたが、とにかく國學者の間では、契沖の唱へた歴史的假名遣を以て假名遣の標準とすることに一致したのである。明治になつてからは、

主 張……………(一)

監修：滑川道夫・野地潤家 / 編集解説：川口幸宏・太郎良信・中島和美

[教育・国語教育復刻刊行委員会刊 / 大空社発売 1993-95 復刻] B5 判・上製

■昭和戦前期を代表する〈教育総合誌〉 昭和 6 年創刊号から昭和 15 年終刊号まで全 108 冊 2 万 6 千頁を復刻。

●内容・特色 ①国語教育に限らず教育全般・社会問題までを含む幅広い誌面構成。 ②誌面に現場教師たちの生々しい息づかいが溢れる。 ③「生活綴方教育運動」の実証的・理論的研究資料の宝庫。

●推薦します(発刊時) 教育運動史研究会会長・井野川潔：全 108 冊復刻の壮举を喜ぶ / 東京学芸大学教授・海老原治善：国語教育の枠をこえた、教育への良心 / 全日本国語教育学会常任理事・大村はま：豊かな内容に改めて覚える興奮 / 中央大学教授・金原左門：あらためて学ぶ、多彩な教育の創造 / 日本国語教育学会会長・倉澤栄吉：復刻版を推す / 日本作文の会・田宮輝夫：『幻の源流、から学ぶ / お茶の水女子大学名誉教授・波多野完治：『教・国』の復刻版刊行を喜ぶ。

[1 回] 19 卷(昭和 6.4-10.12) 4-87236-063-X 本体 290,000 円

[2 回] 17 卷(昭和 11.1-15.3)・別巻(解説・総目次・著者名索引) 4-87236-064-8 本体 290,000 円

(全 36 卷・別巻 1) 揃本体 580,000 円

本誌は、1931(昭和 6)年 4 月に、元東京高等師範学校訓導・千葉春雄を主宰として創刊された。戦時体制下の雑誌統合政策のあおりを受け、1940 年 4 月より誌名を『教室』と改題することにより、当初の本誌の性格が変質し、その歴史的役割を閉じた。

本誌は、たくましくリベラルな、在野精神の持ち主であった主宰者・千葉春雄の影響を強く反映している。従来の国語教育の型を突き破る斬新な編集方針のもとに、多種多彩な執筆陣による論文、実践記録、評論などが掲載されている。執筆陣に、当時、国語教育、教育一般をはじめとして思想、哲学、歴史学、言語学などの広範な領域における著名人、知識人を迎えたばかりか、民間的な国語教育運動に密着して、とくに地方在住の無名の青年教育者の発掘と育成に力を注ぎ、その豊かな教育実践を誌面に紹介している。

本誌を一瞥すれば、当時の教育、思想、科学、文化の水準を知ることが出来るばかりか、その水準を突き破ろうとする歴史創造への若々しいエネルギーと実績とを感じることが出来る。とりわけ、昭和初期の生活綴方運動の展開の上で極めて重要な役割を担ったことは、あまりにも有名である。

「実際の光つたところを、どんどん見せてほしい。空理空論は不要だ。現代の国語教育に必要な、しかし再校の実際到達点を示してほしい。一苦しみぬいて、本当に胸にこたへた研究を送ってほしい。万人を光被させ救済するものがほしい。事実即して、うんときたへるものを、どしどし送って下さい。(第 2 巻 5 号・昭和 7 年 5 月号「編集後記(千葉)」より)」

(刊行にあたって・監修のことばより抜粋)

『教育・国語教育』刊行・誌名の変遷(厚生閣発行)

教育・国語教育(千葉春雄主宰)

昭和 6 年 4 月創刊

教育・国語教育(前本一男編集)

昭和 12 年 8 月

教育国語教育(前本一男編集)

昭和 13 年 1 月

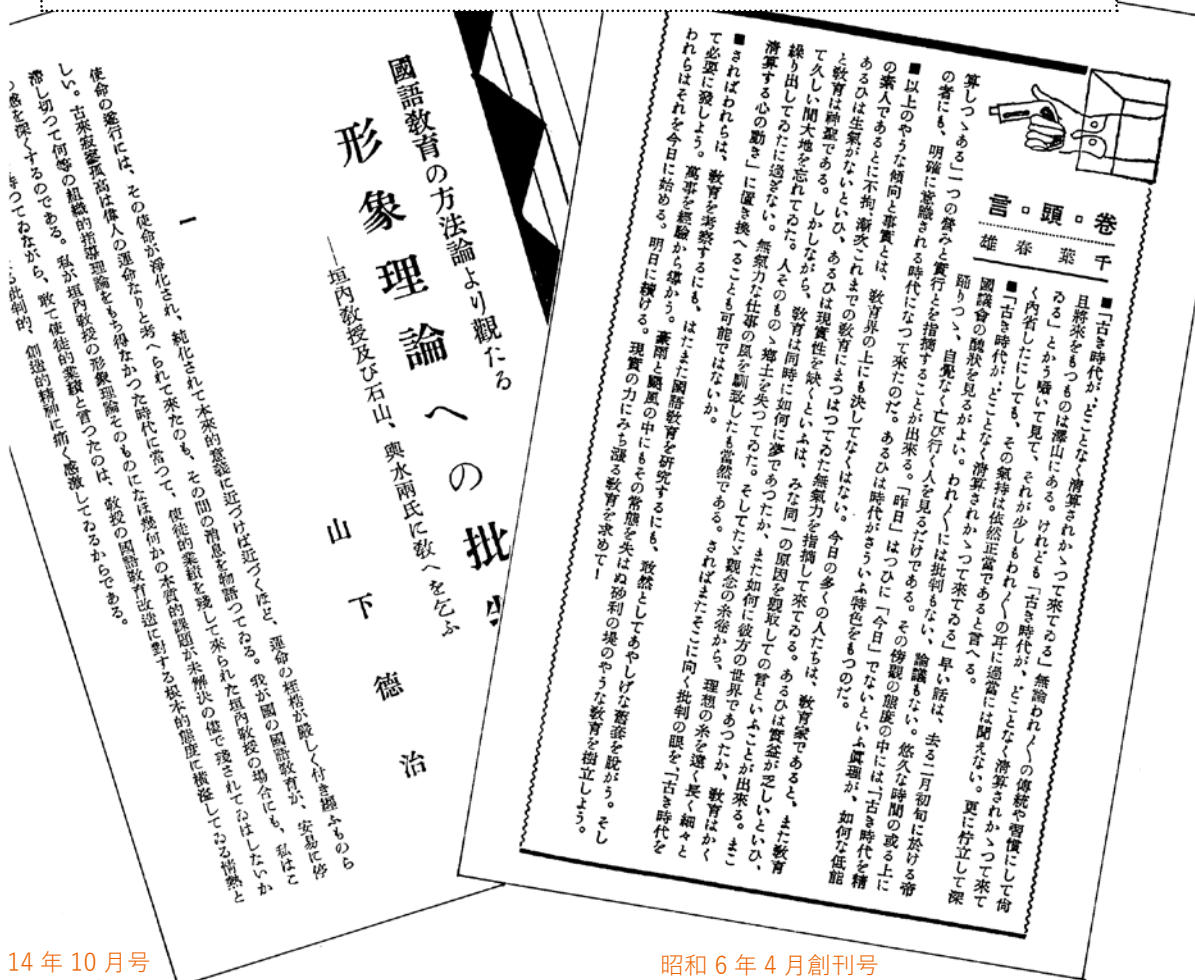
教育国語教育(百田宗治編集に加入)

昭和 13 年 11 月

教育・国語(百田宗治編集)

昭和 14 年 4 月

(終刊) 昭和 15 年 3 月



『公学校国語読本教授書』(第四次<昭和12年>・南洋庁、編纂者：梅津隼人)

『南洋群島 国語読本』全8巻刊行時には未発見・未収録だった「<第四次> 教授書」の復刻。

- ① 教授者用の教授書で、単に日本語・国語の教育法のみならず、当時の南洋での教育実態と国策・社会的思想的背景をも明らかに物語る、貴重な歴史的資料。
- ② 芦田恵之助(第二次)と中島敦(第五次)以外の編纂者について書かれた初めての論考を解説とする。

[収録内容]

補遺刊行にあたって(梅津彰人=編纂者子息)
<解説> 南洋庁第四次教科書編纂者 梅津隼人のこと(前田均)
<参考資料> 南洋群島教育会発行『南洋教育』誌(第5巻第2号、昭和13年7月) *第四次教科書に対する現場教員からの意見を復刻収録している。

本科用巻四

一 キヌウジヨウ

日本國體の尊嚴、國民の美風を知らしめるための教材である。

帝都の中央に嚴として宮城あり、其の宮城の奥深き所に、現人神なる聖上陛下が住はせられるので、我等億兆臣民の心がいつも安泰で、喜悅と希望とに満ちて其の日其日を送ることが出来るのである。

現人神の住はせられる所として宮城は聖なる場所である。其の意味を兒童に知らしめなければならぬ國民が何等功利的動機なく、たゞ清らかな心を以て宮城を拜することは、日本國民の最崇高な美風である。宮城の莊嚴を知ることが、やがて國體の強く美しいことを知ることの基である。

「オスマイニナル」が一つの敬語的表現で「イラツシャル」も同様である。兩方を使ふと、最上の敬語となるのである。

「トウキョウノマンナカ」これは、數學的測量的の真中ではない。大凡中央の意味である。

「フカイオホリヲメグラシテアリマス」「オホリ」は敬語。「メグラス」は「メグル」の他動詞の形となつてゐる。

「オホリノソトカラハイシマス」「ハイスル」は、鄭重語で「ゲンカンヲハイスル」「ミクマルヲハイス」等、凡て皇室に関するものに對しては「ハイスル」と申すのである。

「ゴテンノミドリノヤネガミエマス」さびて綠色に見えるのである。

「セイモンノトコロ」正門のある所。

本科用巻四

一〇三

ここであき机からここまでになつた経過を考へて見させるがよい。事業が發展するにはそれ相當の苦心と熱心と順序が必要であることをわからせるのである。
「コノ文庫ハ、ミンナノ力デ出来タノダカラ、トウトイモノダ」有益な公共的の事業は人々が協力しなければ成功しない。そうして成功したあかつきは誠に愉快なものであり、尊いものであることを知らせるがよい。
「卒業記念トシテ、學校ニ殘シテオキタイと思イマス」ここでは母校の觀念と、愛校心を培つておくべきである。

第二十 神 風

我が國開闢以來の國難と言はれてゐる元寇中の弘安の役を叙した歴史的材料である。この國難に於てかしくも龜山上皇は尊い御身を以て國難に代らうと伊勢の皇大神宮に祈らせられ、執權北條時宗は勇武果斷でよく事を決して誤らず、國民は武士から百姓に至る迄身をなげうつて之を防ぎ、上下一致困苦に堪へたために、この大勝を得て國威を輝かすことが出来たのである。我が國民性の優秀なる特質は、この非常時に於て最もよく發揮せられたのである。この歴史の物語によつて兒童をして國民性の優秀なる所以を知らしめることが此の課の目的である。

龜山上皇の皇大神宮にお祈りになつたことについては、特に慎重に注意して教授し、我が國風としての神への祈りを兒童に誤解させないやう氣を付けなければならぬ。

「後には世界の國々をせめとつてしまおうとした。」アジャに於ける諸國を併せ、遠くヨーロッパの諸

日本教育史 国語教育史 植民地教育史

南洋群島 国語読本 全8巻

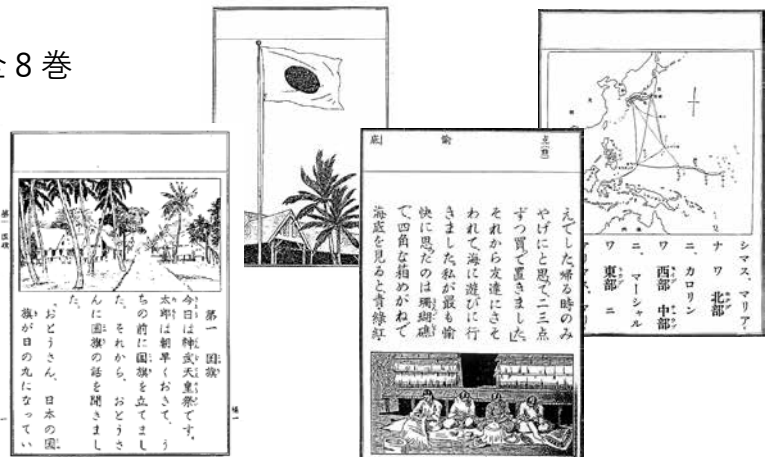
宮脇弘幸監修・解説 [大空社 2006.10]

A5判・上製 4-283-00463-4

揃本体 99,000円

全巻揃残部 2組 *分売不可

現地人兒童生徒用に編纂・使用された教科書<第一次~四次、大正6~昭和12>を復刻。芦田恵之助・岩崎俊春・梅津隼人らが編纂。



雑誌『養護 / 学童養護』

全9巻・別巻1

復刻版編集 瀧澤利行・七木田文彦（大空社 2014-2015 刊）

- 今日につながる多彩で重要なテーマを多数収載
- 時代と歴史の証言となる活動・調査記録・法令等を豊富に収載



原誌
『養護』 第1～5巻・全50冊
昭和3年11月～7年12月
『学童養護』 第6～10巻・全60冊
昭和8年1月～12年12月
発行・帝国学校衛生会（文部省構内）

別巻
雑誌「養護」の時代と世界
学校の中で学校看護婦はどう生きたか
（執筆 瀧澤・七木田・竹下智美） 総400頁
付：雑誌「養護」「学童養護」（全110号）
総目次・索引（人名・機関名・事項）

全9巻・別巻1セット 978-4-283-01021-5
揃定価(本体208,600円+税)

第1回(第1～4巻) 揃定価(本体90,000円+税)
第2回(第5～9巻) 揃定価(本体110,000円+税)
第3回(別巻) 定価(本体8,600円+税)

A5判・上製・クロス装・総約5700頁

*こちらの商品の
お問い合わせ・ご注文はこちらへ。
(専売) 国内販売元



TEL 078-945-7835 FAX 078-945-7886 E-Mail: contact@tosho-pensee.com

同志同行 全35巻・別巻1（解説・総目次・著者名索引）

石井庄司・野地潤家監修 [大空社 1989 復刻] (全2回配本) 揃本体 349,514円

■芦田恵之助(1873-1951)主宰〈同志同行社、昭和5.1-30.1〉。国語教育実践の最高峰・芦田と全国各地域で実践にうちこむ同志との交流の場「全生活を教育と観ずる者を同志といひ、教壇を熱愛するものを同行といふ」。

全巻揃残部数組
*配本分売応ご相談

*詳細案内進呈

〈復刻資料〉別巻【解説/総目次/索引】

これは便利！〈明治～戦後〉研究調査の片腕！

(大空社 1994 刊)

別巻書名	総目次*は原資料目次の復刻	復刻原資料発行時期	本体(税別)
文部省例規類纂(総目次*)		明治20～昭和20	8,544円
女鑑(解説・総目次*・索引[著者名])		明治24～42	10,680円
帝国教育会機関誌・教育公報(解説・総目次*)		明治29～40	6,942円
教育学術界・明治編(解説・総目次・索引[著者名])		明治32～大正1	8,010円
社会教育(解説・総目次*・索引[著者名])		大正10～昭和19	9,077円
校外教育基本文献集(解説)		(全7巻)大正13～昭和13	4,271円
全国小学校連合女教員会雑誌(解説・総目次*・索引[著者名])		大正14～昭和18	5,339円
教育週報(解説・総目次・索引[人名])		大正14～昭和19	10,680円
教育・国語教育(解説・索引[ジャンル別・執筆者名])		昭和6～15	10,145円
時事通信・内外教育版Ⅰ(解説・総目録・索引[人名・団体名])		昭和21～27	7,476円
時事通信・内外教育版Ⅱ(総目録・索引[人名・団体名])		昭和27～29	7,476円
家庭科教育(解説・総目次*・索引[著者名])		昭和21～35	10,680円

*詳細案内進呈

残部僅少

高度経済成長と社会教育

辻 浩 編 978-4-86688-238-3 (2024年1月刊) A5判・244頁 本体 2,700円

戦間期・占領期に次ぐ近代日本の大きな転換期「高度経済成長期」(およそ1955～1975年)。大量消費社会で発生した諸問題、その中で諸地域で展開された社会教育の実践・理論・政策を追い、「権利としての社会教育」が追求された意味を再確認、これからの日本社会の課題解決のために新しい理論的・実践的提起を目指す。11人の研究者による共同研究。●1章 国民の学習権保障と社会教育 / 2章 公民館報に見る住民がとらえた地域課題 / 3章 教育福祉から見る青年期教育と家庭教育 / 4章 生活構造の変容と学習・文化活動 / 補章 「経済成長と社会教育」の比較研究試論 / 付 高度経済成長期 社会教育関係年表



日本工業博物館史の研究

馬淵浩一 著 978-4-86688-236-9 (2023年10月刊) A5判 265頁 本体 3,500円

明治以降、幾度となく提案されてきた日本の工業博物館設立計画、しかしいまだ実現されないのはなぜなのか? 近代日本の博物館の歴史に刻まれる“工業博物館”構想に関わった官民・学術・教育の人々の営みを、膨大な史料文献・データを的確に整理し、鋭く歴史の核心に迫る。永年、博物館業務に従事してきた著者だからこそその視点で書かれたユニークな業績。各種変遷・概要・分類・数量データから組織・人物略歴・社会背景を明解に提示する有益・豊富な図表 54点収録。読みやすい・明解な文章。



日本における女子体育教師史研究

掛水通子 著 978-4-908926-32-7 (2018年2月刊) A4判・500頁 本体 16,667円

同じ女子教師であっても、女子体育教師のみが女子教師からも体育教師からも差異化されてきた理由は何か? 男女共修・男女共同参画時代における女子体育教師の役割をどのように位置づけるか… 近現代日本の女子体育教師史の全体像を膨大なデータをもとに詳細に跡づけ、今日の課題に迫る大著。統計・調査記録・年表等 図表約 250点収録

私の記録、家族の記憶 ケアリーヴァーと社会的養護のこれから

阿久津美紀 著 978-4-908926-20-4 (2021年8月刊) A5判・238頁・上製 本体 2,700円

2022年度・日本社会福祉学会
学会賞・奨励賞(単著部門)受賞

少年行刑の歴史からみる知的障害者福祉の萌芽

末松恵 著 978-4-86688-234-5 (2022年3月刊) A5判・370頁・上製 本体 4,300円

京都「特別学級」成立史研究 史料と論究

玉村公二彦 著 978-4-908926-53-2 (2021年2月刊) B5判・640頁・上製 本体 17,091円

「劣等児」「特別学級」の思想と実践

* 2021年度日本特別ニーズ教育学会文献賞受賞

阪本美江 著 978-4-908926-52-5 (2021年5月刊) A5判・280頁・上製 本体 4,000円

近代社会教育における権田保之助研究 娯楽論を中心として

坂内夏子 著 978-4-908926-63-1 (2019年8月刊) A5判・206頁 本体 3,000円

戦前日本社会事業調査資料集成 別巻 (調査資料文献/概要) 残部僅少

社会福祉調査研究会 編 978-4-908926-64-8 (2019年12月) A5判・1225頁・上製 本体 34,000円 [発売: 大空社出版]

戦前期(明治後半～1945年8月)の社会事業(社会福祉)調査資料文献約1,300点の解題(項目は①資料の概要、②資料の特徴、③調査の概要、④調査の内容、⑤集計の特徴、⑥資料の所蔵、⑦備考)。社会事業、福祉・慈善事業から経済・社会・思想・民衆・生活・医療・教育・地方・労働・貧困・災害等々、近代日本社会の実状を伝える調査への道しるべ。

絵図集成 近世子どもの世界 全10巻 [大空社1994-95] B5判・上製 本体 194,174円 残部数組

近世子どもの教養世界を総覧する絵図6,300点。記事のすべてを翻刻、ほとんどが初公開。教育史・庶民文化・風俗研究に不可欠資料。近世の「子ども」の世界が絵図を通して具体的、立体的に見えてくる。

「江戸庶民」の生活を知る 『江戸時代庶民文庫』別巻「解題・索引」全2巻

解題 小泉吉永 [2012-2022完結] A5判・上製 各本体 28,000円

全100巻・収録資料350余点・総(影印)頁約39,000頁を縦横に検索。江戸時代に関するあらゆることを知りたいならまずこの叢書から! 当時の人と同じものを読む楽しみ!

